

甲斐たかゆきの市議会だより「えがお」号外・2021年7月発行



みなさん、こんにちは。久々の号外の発行となりました。ご無沙汰しています。いかがお過ごしでいらっしゃいますか。これからの日々、暑くなっていきますので、マスクや手洗いなどの感染症対策に加え、こまめな水分補給を心がけ、熱中症や夏バテにも十分にお気をつけください。

さて、県内では新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたとして、4段階のステージが「1」（散発的発生）へと引き下げられました

た(6/28段階)。しかし、全国でデルタ株の感染報告が増加しているため、引き続き警戒と対策が必要であり、不安な日々となっているのではないのでしょうか。まだまだ「コロナ禍」ではありますが、少しでも安心安全な生活となるよう、みなさまの笑顔につながる活動を継続していきます。今後ともみなさまの声をお聞かせください。

大分市では、希望される方へのワクチン接種ができるだけ早期に行われるように、かかりつけ医による個別接種と接種センターなどによる集団接種との併用によりを実施しています。これまでに寄せられた声を反映して、コールセンターの回線の増設、接種会場ごとの予約枠の拡大や新たな会場の開設なども行ってきました。今後も接種を希望される方が、少しでもスムーズな予約と落ち着いて接種できる環境の整備を意見要望していきます。この件に関しても、ご意見ご要望をお寄せください。

今回の号外では、「えがお18号」には掲載していない内容を中心にまとめました。

【ワクチン接種について】

- ①副反応等について
- ②ワクチン接種の見通し
- ③接種方針で大切にしていること
- ④今後の対応
- ⑤接種を希望しない方へのサポートについて

【福祉保健部長答弁】 (情報部分だけを抜粋しました)

- 7/5頃から16歳以上64歳以下の方への接種券送付予定。
- 基礎疾患のある60歳から64歳の方については、優先予約期間を設けて受付。
- 高齢者施設等の従事者については、現在接種の意向調査中。その後、接種予定。
- 本人の同意なく接種が行われることはない。接種を受けていない人に差別的な扱いをすることはあってはならない(このことを周知徹底していく)。

【甲斐の思い】接種を促進することの大切さはわかりませんが、痛みや発熱といった副反応への不安があるのも事実。重いアレルギー反応のアナフィラキシーも心配されていますので、これらの不安に寄り添い、必要な情報の公開と丁寧な対応を改めて要望。また16才以上となっている接種の対象を決して引き下げることのないように強く意見(今後、仮に対象年齢が下がったとしても学校での集団接種ではなく、保護者同伴での個別接種が大前提、もちろん希望制)。地域で接種予約のサポートをしている方々の事例をあげ、行政も関わっての予約への支援策を提案し要望を付け加えました。

☆中判田駅周辺整備に関して・・・

以前にも「えがお号外」で紹介しましたが、2020年9月から千葉県鴨川市では、全国初となる郵便局と駅の窓口業務の一体運営を始めています。老朽化していた江見駅の隣に新たに建物を建設して、少し離れたところにあった郵便局が「江見駅郵便局」として移転し実現したものです。これを知ったとき、中判田駅の周辺整備を論じていくときのポイントだと確信しました。このような各地の実例やお互いの思いや夢を私自身も地域のみなさんと語り合っていきたいと思えます。なお、駅には駅員さんが存在してこそ、その機能を果たしていけると思っています。「駅の無人化」には反対です。

☆本年度実施される「中判田駅構内スロープ整備」に関して・・・

「えがお17号」でお知らせしましたが、中判田駅と坂ノ市駅の構内に踏切やスロープを新設し、ホームへの移動をスムーズに行えるように整備することとなっています。つまり既存の階段を使用しなくても移動が可能になります。このスロープ工事に伴い、撤去される上屋の再設置を要望しています。なお坂ノ市駅ホームの上屋は現状のまま維持されます。

☆久土地地区のリサイクル会社敷地内での火災に際して・・・

6月10日(木)の夕方に発生した火災に対しては、自治委員さんや指原元市議と連絡を取り合いながら、環境対策課や坂ノ市支所への相談や要望を行いました。関係河川の水質検査を実施していただきましたが、引き続き周辺の堤などの検査拡充を要望しました。結果として、屋山川や後ヶ迫堤、小川内堤の水質検査を実施していただき、水質に「影響がない」ことを確認することができました。今後も必要に応じて継続調査も要望していきます。

☆「ワクチン接種予約」へのサポート体制にエールをおくります！！

ワクチン接種予約のサポートをボランティアでされている方々からの情報です。7/5(月)から坂ノ市地域では、丹生・小佐井・坂ノ市それぞれの校区公民館内でお手伝いできるようになっています。6月中頃に実践したノウハウを基に提案した方々、そのことに共感して受入を決断した公民館の方々に、改めて感謝です。なお、公民館ごとに期日や時間帯などが異なりますので、必ず事前に公民館まで電話連絡をお願いします。

☆子どもたちに豊かな教育を保障するために・・・大分市長に要請！



5月17日(月)、大分市長に対して「義務教育費国庫負担率2分の1復元・制度拡充」を要請する活動に同行しました。「コロナ禍」での教育現場の実態と少人数学級の早期実施などの教育課題を認識してもらうとともに、子どもたちに豊かな教育を保障していくための予算確保も含め、要請しました。今後も教育現場で働くすべての教職員と子どもたちの「笑顔」につながることに取り組んでいきます。

これからも「子どもたちをまんやかに」。今後ともみなさんのご理解・ご協力をよろしく
お願いいたします。

甲斐たかゆき・連絡先 090-4991-6412